### 第5学年 社会科学習指導案

1 単元名 水産業がさかんな銚子港 ~日本の水産業は輸入に頼るべきか?~

#### 2 単元について

○ 本単元は、水産業が盛んな地域について調べ、日本の水産業の特色や自分たちの生活とのかかわりを理解するとともに、水産業に従事する人々の工夫や努力に気付き、水産資源の確保に重要な役割を果たしていることを考えるようにすることをねらいとしている。

新学習指導要領の2内容(2)「我が国の農業や水産業について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えるようにする。」に関連している

日本近海はよい漁場であり、水産業にかかわる人々が漁港や運輸、消費地などで様々な工夫や努力をしている。しかし、後継者不足、高齢化、200カイリ水域など問題も多く、水産資源の多くを輸入に頼っているという現実がある。そこで、水産業にかかわる人々の工夫や努力だけでなく、問題点にも気付かせ、今後の日本の水産資源確保について考えさせることは意義あることと考える。

○ 本学級の児童が住む基山町は、海から離れているため、水産業の様子を見たことがある児童は 少なく、関心も高くはない。

意思決定型の授業については、これまで一度経験をしている。「気候を生かした地域のくらし」での学習課題は「沖縄と新潟ではどちらが得か」であった。このとき、自然環境、安全、予算などが論点として出された。しかし、自分たちがどの論点で話し合っているかが分からない児童も多かったので、どの論点で話し合っているかに気付かせ、話をつなげていく指導が必要だと考える。

また、このときは、単元の最後の授業だったため、それまでに学習した内容を踏まえて、全 員が自分の考えを書いて、発言することができた。しかし、インターネットや百科事典などを使 って情報を進んで調べる様子があまり見られず、教科書や資料集を基に調べ活動を行う児童が多 かった。そこで、本単元では、総合的な学習の時間を利用して、インターネットを使った調べ方 を少しずつ指導し、児童が各自で情報を集め、自分の考えに反映させることができたらと考える。

○ 指導に当たっては、まず日本は、よい漁場であり、水産物の消費量が多いことに気付かせる。 次に、魚のとり方や釣った魚を店まで運ぶ際の工夫について調べさせる。その際、インターネットを使った調べ方も指導していきたい。そして、現在の水産業の問題点と対策として養殖や栽培漁業について調べさせる。

最後に、これからの日本の水産業は輸入に頼るべきか、生産力を上げるべきかについて考えさせる。理由を考えさせる際には、日本の水産業の特色や抱える問題点を踏まえさせたい。「輸入に頼るべきである」派には、水産業の問題点を基に理由を考えさせ、「生産力を上げるべきである」派には、日本近海がよい漁場であること、水産業にかかわる人々が様々な工夫や努力をしていることを基に考えさせたい。

#### 3 単元の総括目標

水産業が盛んな地域について、従事する人々の工夫や努力を調べさせ、日本の水産業の特色や自分たちの生活とのかかわりを理解させるとともに、今後の水産資源の確保について考えをもたせる。

# 4 単元の評価規準

| 社会的事象への     | <br>  社会的な思考・判断 | 観察・資料活用の   | 社会的事象についての  |
|-------------|-----------------|------------|-------------|
| 関心・意欲・態度    | 任芸的な芯ろ・刊例       | 技能・表現      | 知識・理解       |
| 自分たちの生活と水   | 日本の水産業の特色       | 資料を活用して水産  | 資料を基に、日本の水  |
| 産業のかかわりについ  | を調べ,水産業に携わる     | 業と自分たちの生活と | 産業の特色や自分たち  |
| て関心をもち, 水産業 | 人々の願いや問題に対      | のかかわりや、水産業 | の生活とのかかわり,  |
| の盛んな地域について  | してどのように対応し      | を取り巻く問題につい | 水産業に携わっている  |
| 調べようとする。    | ているかについて考え      | て具体的に調べること | 人々が抱えるさまざま  |
|             | ることができる。        | ができる。      | な問題を理解している。 |

### 5 単元の指導計画(全8時間)

| <u>5</u> | ・ 単元の指導計画(全8時间) |                 |                             |    |  |  |
|----------|-----------------|-----------------|-----------------------------|----|--|--|
|          | 学習活動            | 教師の指導・支援        | 評価【評価方法】                    | 時配 |  |  |
| 1        | 日本の魚の消費量は多い     | ○ 日本の魚の消費量が多いこ  | ・ 資料を基に、日本の                 | 1  |  |  |
|          | か、資料から考える。      | とに気付かせるために, 日本人 | 水産物の消費量を調                   |    |  |  |
|          |                 | は魚が好きかどうかを予想さ   | べることができる。                   |    |  |  |
|          |                 | せ、調べさせる。        | 【発言、ノート】                    |    |  |  |
| 2        | 日本がよい漁場である理     | ○ 日本がよい漁場であること  | <ul><li>日本がよい漁場であ</li></ul> | 1  |  |  |
|          | 由は何か、資料から考える。   | に気付かせるために, 日本の地 | る理由を調べること                   |    |  |  |
|          |                 | 理的条件や海流などに目を向   | ができる。                       |    |  |  |
|          |                 | けさせる。           | 【ノート】                       |    |  |  |
| 3        | 魚のとり方の工夫には,     | ○ 水産業にかかわる人々の努  | ・ 様々な魚のとり方に                 | 1  |  |  |
|          | どのようなものがあるか調    | 力や工夫に気付かせるために,  | ついて調べることが                   |    |  |  |
|          | べる。             | 底魚、浮魚のとり方の違いや、  | できる。                        |    |  |  |
|          |                 | 他の魚のとり方について調べ   | 【ワークシート】                    |    |  |  |
|          |                 | させる。            |                             |    |  |  |
| 4        | 魚が店に届くまでには,     | ○ 魚が店に届くまでどのよう  | <ul><li>魚が店に届くまでに</li></ul> | 1  |  |  |
|          | どんな人がかかわり、どん    | な人たちがかかわっているか   | かかわる人や工夫に                   |    |  |  |
|          | な工夫がされているかを調    | 気付かせるために、とられた魚  | ついて調べることが                   |    |  |  |
|          | べる。             | はどこを通って, 店まで運ばれ | できる。                        |    |  |  |
|          |                 | るのか図に描かせて考えさせ   | 【発言,ノート】                    |    |  |  |
|          |                 | る。              |                             |    |  |  |
| 5        | 水産業に携わる人々が抱     | ○ 水産業に携わっている人々  | ・ 資料を使って水産業                 | 1  |  |  |
|          | える問題について調べる。    | が抱える問題に気付かせるた   | の問題について調べ                   |    |  |  |
|          |                 | めに,資料を使って,高齢化,  | ることができる。                    |    |  |  |
|          |                 | 後継者不足,200海里水域な  | 【発言,ノート】                    |    |  |  |
|          |                 | どの問題について調べさせる。  |                             |    |  |  |
| 6        | 「つくり育てる」漁業につ    | ○ 衰退している漁業の将来に  | ・ 養殖と栽培漁業につ                 | 1  |  |  |
|          | いて調べる。          | ついて考えさせるために,養殖  | いて調べることがで                   |    |  |  |
|          |                 | と栽培漁業について調べさせ   | きる。                         |    |  |  |
|          |                 | る。              | 【発言,ノート】                    |    |  |  |
|          | 1               |                 |                             |    |  |  |

| 7 | 日本の水産業は輸入に   | <u>⊆頼るべきか,生産力を上げるべきな</u> | 5,4 ?       | 1  |
|---|--------------|--------------------------|-------------|----|
|   | 日本の水産業は輸入に頼  | ○ 日本の水産業の将来につい           | ・ 学習課題に対して, |    |
|   | るべきか、自分の考えを書 | て考えさせるために、今後の日           | 自分の考えを持つこ   |    |
|   | < ∘          | 本は輸入に頼るべきか、生産力           | とができる。      |    |
|   | 【意思決定1】      | を上げるべきか、考えさせる。           | 【ノート】       |    |
| 8 | 日本の水産業は輸入に頼  | ○ お互いの考えを聞き, 更に深         | ・ 友達の考えと比べ  | 1  |
|   | るべきか、話し合い、自分 | く考えさせるために、前時で考           | て, 自分の考えをまと | 本時 |
|   | の考えをまとめる。    | えた理由を発表し、話し合わせ           | めることができる。   |    |
|   | 【意思決定2】      | る。                       | 【発言、ワークシート】 |    |

### 6 本時の目標

今後の日本の水産業は輸入に頼るべきか、生産力を上げるべきかについて、予算面、安全面、 自給率などの価値を考慮しながら、自分の考えをまとめることができる。【社会的な思考・判断】

| 7 本時の展開(8/8)<br>学習活動           |                | 教師の指導・支援(○)と【評価】      |         |
|--------------------------------|----------------|-----------------------|---------|
| 1 学習問題を確認し,自分の考                |                |                       |         |
| えを板書する。                        |                |                       |         |
| 日本の水産業は、輔                      | 前入に頼るべ         | きか。生産力を上げるべきか。        |         |
|                                |                |                       |         |
|                                | ○ 児童の          | 考えを把握し,賞賛し,認めるために,    | 全員にノート  |
| を持たせる                          |                | る。目を通した後で,板書させる。      |         |
| ○ 黒板を2つに分け、輸入に頼るべきか、生産力を」      |                | を上げるべき                |         |
| かを一目で分かるように板書させる。              |                |                       |         |
| _ 〈予想される児童の考え〉                 |                |                       |         |
| 輸入に頼るべき                        |                | 生産力を上げるべき             |         |
| ①高齢化、後継者不足だから。                 | ①高齢化、後継者不足だから。 |                       |         |
| ②200カイリ問題で生産力は上げられ             |                | ②今でも、輸入量より国内生産量が多いから。 |         |
| ないから。                          |                | ③輸入してばかりでは、お金がなくなるから。 |         |
| ③魚のとりすぎで少なくなるから。               |                | ④養殖すればよいから。           |         |
| ④今でも輸入量が世界で1位だから。              |                | (自給率を上げるべきだから)        |         |
|                                |                |                       |         |
| ○ すべての児童が考えをもてるように、書くのが苦手な子には、 |                |                       | 苦手な子には, |
| 板書を参考にさせる。                     |                |                       |         |
|                                | 板青を変           | ろにさせる。                |         |

### 2 考えを発表する。

### 発表例

「わたしは、輸入に頼るべきだと考えます。理由は、教科書〇ページに「漁業にかかわる人が高齢化」だと書いているからです。

- 結論を先に言ってから、理由を言う型に合わせて、発表させる。
- 討論のときに、反対意見を述べさせるために、「安全」や「お 金」「高齢化」などのキーワードをメモさせる。
- 根拠を基に発言した児童を賞賛し、根拠として挙げた資料(グラフや表など)を全体で確認させる。

- 考えを書く。
- 3 友達の考えを聞いて、自分の 考えをより深めるために、友達の発表に対して、賛成や反対 などの考えをノートに書かせる。一人では考えられない子もい るので、グループになって話し合ってもよいことを告げる。
  - 反対意見が書けた子も賞賛する。

### 4 議論する。

〈予想される反対意見〉

| 輸入に頼るべき            | 生産力を上げるべき           |  |
|--------------------|---------------------|--|
| ①国産の魚も日本で検査すればよい。  | ①国産の食べ物は実際に問題があった。  |  |
| ②養殖や栽培漁業もお金がかかる。   | ②輸入できなくなったときこまる。    |  |
| ③ 養殖している人も高齢化している。 | ③遠洋漁業でとれる魚を養殖すればよい。 |  |

## 発言例

「Aさんの意見に反対です。 もし、養殖で生産力を上げよ うとしても、養殖をしている! 人も高齢化していると思うの で、生産力を上げるのは難し いと思います。」

○ このときの発言も型に合わせて言わせる。また、なるべく、 友達の意見につなげるように発言させるため、どの論点で話し 合っているか確認させる。

〈意識させたい論点〉

- 予算衛生,安全
- ・環境

- ・自給率・日本の将来など
- 5 自分の考えをまとめる。
- ○議論が終わった後で、自分の考えを書かせる。相手の主張に対 して、どのように考えたかも書くようにさせる。 【評価】

#### 8 本時の評価

| 2 4.64 6.0 LI |  |                |                 |  |
|---------------|--|----------------|-----------------|--|
| 評価規準          | 学習問題に対する、「輸入に頼るべきか」「生産力を上げるべきか」という2つの主張に |                |                 |  |
|               | ついて,「予算」「安全」「目                           | がら、自分の考えをまとめるこ |                 |  |
|               | とができる。                                   | 【社会的な思考・判断】    |                 |  |
| 評価の基準         | A  | В              | С               |  |
| →支援           | 「予算」「安全」「自給                              | 「予算」「安全」「自給率」  | Bに達していないもの      |  |
|               | 率」などの価値について,                             | などの価値について,根拠   |                 |  |
|               | 双方の考えから根拠を挙                              | を挙げながら、自分の考え   | (例)主張をもつことができる  |  |
|               | げながら, まとめること                             | をまとめることができる。   | が,「予算」「安全」「自給率」 |  |
|               | ができる。                                    | →相手の主張に対して     | などの価値について,根拠を挙  |  |
|               |  | は、どのように考える     | げていない。          |  |
|               |  | か,資料を基に考えさ     | →どの資料を基にして考え    |  |
|               |  | せる。            | たのかを明確にさせる。     |  |
| 評価方法          | 発言内容 ノート・ワーク                             | シート            |                 |  |